

資料室


[HOME](#) | [資料室](#) | [一般教養](#) | [自己啓発](#) | [ケインズ伝 \(2\)](#)
[労働組合](#)[労働者福祉・共済](#)[一般教養](#)[社会保障](#)[労使トラブル法律相談Q&A](#)[労働関係法](#)[経営全般](#)[人間関係とコミュニケーション](#)[ライフプラン](#)[男女共同参画](#)[公務員関係法](#)[日朝の歴史](#)[7つの習慣](#)[中東の歴史](#)[ボランティア活動](#)[環境活動](#)[社会貢献活動](#)[自己啓発](#)[生涯学習](#)[外交・防衛問題](#)[資本論](#)

ケインズ伝 (2)

イギリスの巨額にのぼる戦債は非常に大きな問題でした。この大戦により、軍事的のみならず金融的優位性までもが、イギリスからアメリカに移ってしまいました。ケインズはこの間事象の推移をみつめ、積極的な評論活動を続けていました。その考え方は自由党の経済政策・社会哲学に影響を及ぼします。

当時まとめた彼の論文「自由放任の終焉」は、資本主義社会の現状に批判的であり、その是正のために唱えたのが「ニュー・リベラリズム」でした。

資本主義の本質的特徴とは、すなわち、経済機構の主要な推進力として、個人の金儲け本能への強力な訴えかけに依存しているという点である、というのがケインズの見解です。

このような本質的特徴をもつ資本主義社会はケインズの目からみれば、絶えず大きなジレンマにさらされているようなものでした。

資本主義は経済的にみたら効率的なシステムですが、そのことは自由に放任しておけばうまくいくということとは違います。

むしろ自由に放任しておけば、不安定になる性質を有していますから、「自由放任の思想」からの脱却が必要であり、資本主義を賢明に管理する政策技術の探求が不可欠であるとしました。

経済学者ケインズの代表的な著作は「貨幣改革論」「貨幣論」「一般理論」の三点です。

第一作の「貨幣改革論」は1913年に刊行されました。

それは貨幣価値（つまりは物価）の変化が社会に及ぼす害悪を論じることから始まり、続いて、危機的な状況下で紙幣の増刷により公的資金を調達する方策が引き起こす貨幣価値変化の問題が論じられています。

主要な関心事は貨幣価値（つまりは物価）の安定化です。

そして1936年「一般理論」が刊行されます。

政策によって完全雇用が達成できるとしたこの理論は熱狂的に迎えられました。

世界中の経済学者がケインズの理論を学び、資本主義国はこぞってケインズの経済政策を採用しました。

ケインズの著書「一般理論」は世界中の経済学者たちのバイブルとなりました。

「一般理論」には次の3つのことが明らかにされています。

1. 何がGDPの水準を決めるのか
2. なぜ失業が生じるのか
3. どうすれば失業がなくせるのか

そして大不況下に苦しむ資本主義世界にあって、その苦境に何ら有効な政策を提示できない伝統的経済学に失望した若い経済学者、政策立案者から熱狂的な支持を勝ち得ることになります。

[\(3\) に続く](#)

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

[>> 一覧へ戻る](#)

[教育カリキュラム](#)

[日本国憲法](#)

[傾聴](#)

[語り部スキル](#)

[▶ キーワード検索はこちら](#)

[▶ サイトマップ](#) [▶ このサイトについて](#) [▶ 個人情報保護の取組みについて](#)

[▶ ページTOPへ](#)

[TOP page](#)

[資料室](#)

[イベント情報](#)

[講師を探す](#)

[Worker's広場](#)

[関連リンク](#)

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.